

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年9月7日
【事業年度】	第105期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】	堀田丸正株式会社
【英訳名】	MARUSHOHOTTA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 井澤 一守
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋室町4丁目1番11号
【電話番号】	(03)3548-8121(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 矢部 和秀
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋室町4丁目1番11号
【電話番号】	(03)3548-8139
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 矢部 和秀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月29日に提出しました第105期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

### 第 部 企業情報

#### 第 2 事業の状況

##### 7.【財政状態及び経営成績の分析】

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_線で示しております。

（訂正前）

### 7【財政状態及び経営成績の分析】

#### (1) 財政状態の分析

当連結会計年度末における資産合計は59億37百万円で前連結会計年度末と比べ32億73百万円減少しております。この主な要因は、三菱株より営業譲受けによる増加はあったものの、子会社4社の株式譲渡を行ったことにより、子会社4社の総資産36億74百万円が減少したことによるものであります。

##### （流動資産）

当連結会計年度末における流動資産の残高は、50億21百万円（前連結会計年度末は77億56百万円）となり、27億35百万円減少いたしました。これは主に、三菱株の事業譲受により2億92百万円の増加はあったものの、子会社4社の株式譲渡により32億48百万円が減少したことによるものであります。

##### （固定資産）

当連結会計年度末における固定資産の残高は、9億15百万円（前連結会計年度末は14億53百万円）となり、5億37百万円減少いたしました。これは主に、子会社4社の株式譲渡により4億25百万円減少したことによるものです。

##### （流動負債）

当連結会計年度末における流動負債の残高は、21億25百万円（前連結会計年度末は45億93百万円）となり、24億67百万円減少いたしました。これは主に、子会社4社の株式譲渡により18億5百万円減少及び短期、長期借入金の返済や1年以内償還予定の社債を償還したことによるものであります。

##### （固定負債）

当連結会計年度末における固定負債の残高は、2億22百万円（前連結会計年度末は8億27百万円）となり、6億5百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の返済、社債の償還及び長期未払金の減少及び子会社4社の株式譲渡により5億88百万円が減少したことによるものであります。

##### （純資産）

当連結会計年度末における純資産の残高は、35億89百万円（前連結会計年度末37億89百万円）となり、1億99百万円減少いたしました。これは主に、当期純利益による増加はあったもの、剰余金の配当1億47百万円及び自己株式の取得による1億78百万円があったことによるものであります。

#### (2) キャッシュ・フローの分析

「第2事業の状況 1.業績等の概要、(2)キャッシュ・フローの状況」を参照。

#### (3) 経営成績の分析

「第2事業の状況 1.業績等の概要、(1)業績」を参照。

(訂正後)

## 7【財政状態及び経営成績の分析】

### (1) 財政状態の分析

当連結会計年度末における資産合計は59億37百万円で前連結会計年度末と比べ32億73百万円減少しております。この主な要因は、三菱㈱より営業譲受けによる増加はあったものの、子会社4社の株式譲渡を行ったことにより、子会社4社の総資産36億74百万円が減少したことによるものであります。

#### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、50億21百万円(前連結会計年度末は77億56百万円)となり、27億35百万円減少いたしました。これは主に、三菱㈱の事業譲受により2億92百万円の増加はあったものの、子会社4社の株式譲渡により32億48百万円が減少したことによるものであります。

#### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、9億15百万円(前連結会計年度末は14億53百万円)となり、5億37百万円減少いたしました。これは主に、子会社4社の株式譲渡により4億25百万円減少したことによるものです。

#### (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、21億25百万円(前連結会計年度末は45億93百万円)となり、24億67百万円減少いたしました。これは主に、子会社4社の株式譲渡により18億5百万円減少及び短期、長期借入金の返済や1年以内償還予定の社債を償還したことによるものであります。

#### (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、2億22百万円(前連結会計年度末は8億27百万円)となり、6億5百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の返済、社債の償還及び長期末払金の減少及び子会社4社の株式譲渡により5億88百万円が減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、35億89百万円(前連結会計年度末37億89百万円)となり、1億99百万円減少いたしました。これは主に、当期純利益による増加はあったものの、剰余金の配当1億47百万円及び自己株式の取得による1億78百万円があったことによるものであります。

### (2) キャッシュ・フローの分析

「第2事業の状況 1.業績等の概要、(2)キャッシュ・フローの状況」を参照。

### (3) 経営成績の分析

「第2事業の状況 1.業績等の概要、(1)業績」を参照。

#### (4)経営成績に重要な影響を与える要因について

当社は、当社の親会社㈱ヤマノホールディングス(被所有割合51%)の借入金8億5千万円に対して現金預金(流動資産)5億円を第三者担保提供し、㈱ヤマノホールディングスへ短期貸付7億円を行っております。短期貸付金に対しては㈱ヤマノホールディングスの子会社株式を担保として預っております。

また、㈱ヤマノホールディングスが、平成21年6月15日に適時開示いたしました「第三者割当による新株式及び新株予約権の発行に関するお知らせ」に記載のとおり、平成21年7月6日を期日とした第三者割当による増資を計画しております。増資が計画どおりに進捗しなかった場合、当社の業績に影響を及ぼす可能性があります。